

第3学年2組 社会科学習指導案

1 単元名 地方自治と住民の参加

2 指導観

- わが国では現在少子高齢化や人口減少、一人暮らしや高齢者世帯の増加など、さまざまな変化とそれにとまなう新たなサービスの充実が求められてきている。自分たちが暮らす地域社会に目を向けると、さまざまな人々がそれぞれに要求をもって暮らしている現実が見えてくる。ただし、政治参加となると中学生にとっては身近に感じることは難しい。しかし、地方自治となると、住民がどのような権利をもっていて、地域で何をすべきなのか、地域の具体例から、自分自身の課題に置き換えて身近な問題に感じやすいと思われる。

以上のことから、本単元の学習は、自分たちの地域のことは、自分たちで話し合っ解決していくという一人一人「主役は私」という意識を身に着け、地方自治に参加していく上での見方や考え方を養う上で意義深い。

- 9月に実施したアンケートによると「条例」について知っていると答えた生徒は6人、「地方公共団体（地方自治体）」について知っていると答えた生徒は3人、小郡市の広報紙を読んだことがある生徒は8人と、地方自治に関する知識は身に付けていない生徒が多く、関心もあまり高いとはいえないことがわかった。また、将来、小郡市に住みたいと答えた生徒は4人とどまった。その理由として、交通が不便であったり、大きい商業施設が少ないという回答が目立った。小郡市の課題については、ほとんどの生徒が記入していた。そして、公共施設（プール、公園、動物園など）がなかったり、少ないことをあげていた。また、遊ぶところや大きな商業施設がないなどの指摘も多かった。

- 本単元の指導においては、身近な地域の現状や課題をとらえ、地域の政治に対して自分たちの問題として考える、改善案を提案できることをねらいとする。

そのためにまず、第一次では、各地の特色あるさまざまな条例を紹介し、地方自治に興味・関心を持つことができるようにする。次に、第二次では、学習課題を解決するために必要な知識を獲得し理解することができるようにする。その際、毎時間の振り返り（小さな振り返り活動）を行う。具体的には、地域が抱える課題にや住民参加による地方自治の意義について知り、地方自治のしくみが「民主主義の学校」ともよばれることを、国政との比較などを通して理解する。その上で、地方公共団体の仕事について、具体例を通して理解を深め、地方財政のしくみと、近年の課題や取り組みについて理解する。また、住民投票の実態や条例の作成の具体例を通して、主体的に地方自治に取り組むことの大切さに気づかせる。第三次では、小郡市の特色と課題を資料を活用して、班で検討し、条例としてまとめ発表する。この第三次を、単元全体を通しての自己の学びの変容を認識できるような学習全体を振り返る場と捉える（大きな振り返り活動）。

3 単元目標

- **【関心・意欲・態度】** さまざまな地域社会のできごとに関心をもち、地方の政治に意欲的に提言しようとしている。
- 首長と議会の関係をもとに地方公共団体の仕組み、住民投票や条例直接請求の仕組みを理解することができる。**【知識・理解】**
- 自分の住む地方公共団体の財政や諸問題について、望ましいあり方を多角的・多面的に考え・説明することができる。**【思考・判断・表現】**
- 自分の住む地方公共団体の財政や諸問題について、資料を収集して適切に調べ、その特色を読み取り、小郡市に必要な条例にまとめることができる。**【資料活用の技能】**

4 単元計画（6時間） 関心・意欲・態度【関】 思考・判断・表現【思】 資料活用の技能【技】 知識・理解【知】

段階	時	学習活動・内容	指導のねらい・内容・方法	評価規準（観点・方法）
つかむ	1 ①	1 地域社会のいまを学習する。 ・地域住民のさまざまな思いがこめられた各地の条例を知る。 ・単元を貫く課題を確認する。 自分たちの地域に必要な条例を作り発表しよう。	・条例制定までの具体的な取組に触れさせ、生徒に関心を持たせることができるようにする。 地方自治に関心を持つことができるようにする。	発問に対して意欲的に答えようとしている。（関：様相観察）
深める	1 ③	2 地域の政治のしくみについて知る。 【小さな振り返り】 (1) 地方自治のしくみをとらえる。 ・地方自治、地方公共団体、地方議会、条例 (2) 地方公共団体の仕事と地方財政の現状と課題をとらえる。 ・行政サービス、地方交付税 (3) 地域住民が地域政治にどのようにして意見を反映させているかを捉える。 ・地方自治法、地方分権改革、直接請求権、住民投票、住民運動、NPO	・地域の政治のしくみについての基本的な知識を教科書をもとに調べる活動を設定する。 学習課題を解決するために必要な知識を各特し理解することができるようにする。	地域の政治はどのようなしくみに支えられているかを意欲的に学ぼうとしている。（関：様相観察） 地域の政治のしくみについて理解し、説明できる。 （知：学習シート）
まとめる・振り返る	1 本時 （ 2 / 2 ）	3 単元を貫く課題解決をはかる。 (1) さまざまな資料の中から必要な資料を選選択活用し、地域の特色をつかむ。 (2) 班で話し合い、地域の特色と課題をまとめ、必要な条例として発表する。 【大きな振り返り】	・地域の様子を知り、小郡市にほしい条例を考え、発表することができるようにする。 小郡市の課題と現状を資料をもとに班で検討し、条例としてまとめ発表する。	適切に資料を選び、活用できている。（技：学習シート） 班の中で地域の課題を具体的に検討し、条例としてまとめることができる。（思：学習シート） 意欲的に班活動に参加している。 （関：様相観察）

5 本時 平成30年11月9日(金) 第5校時 3年2組教室 第5次の3時

6 本時の主眼

これまでの学習を参考にしながら、地域の課題の解決に向けた考えを班ごとに条例として提言できる。

7 振り返り活動を仕組む授業づくりの工夫点

これまでの知識・理解が定着しているか、毎時間「小さな振り返り活動」を行う。第三次で、班ごとに条例を作って発表する。これを単元学習を通して、自己の学習の変容を認識するための「大きな振り返り活動」ととらえる。

8 準備 学習プリント、自治体の資料、ホワイトボード、

9 本時の過程

関心・意欲・態度【関】 思考・判断・表現【思】 資料活用の技能【技】 知識・理解【知】

	学習活動・内容	具体的な手立て(支援)	評価の観点(方法)	形態	配時
つかむ / さぐる ・ ふかめる ま と め る ・ 振 り 返 る	1 前時までの学習内容を振り返る。	○本時の学習の見通しを立てることができるように、前時までの流れを振り返る場を設定する。		全体	3
	2 本時のめあてを設定する。 まちづくりのアイデアを条例にまとめ自治体に提言しよう。	○小郡市の特色と課題にもとづき、ふさわしい条例を自分たちでつくるという課題を確認する。			
	3 自分の考えを班内で発表し、話し合っ解決をはかる。 ・小郡市の現状 ・現状から見えてきた課題 ・理想とするまちづくりのために大切にしたいこと ・具体的な提案(条例)	○スムーズに班内の話し合いに入れるように、各自の考えを学習プリントにまとめさせておく。	○なぜその条例が必要かを現状と課題をもとに、わかりやすく説明できる。 【思】 (様相観察、学習プリント)	個 ↓ 班 ↓ 全体	20
	4 各班ごとに代表者が全体の場で発表する。	○ホワイトボードを用いて可視化して表現する活動を設定する。			22
	5 本時の学習を振り返り、まとめる。	○各班からでた条例をもとに、小郡市をよりよいまちにするために、何が今必要なかをもう一度考えさせる。		個	5